一般公開向けと学内向け OCW の統合ウェブシステムの開発と教育サービスの多面的提供

Developments of TOKYO TECH OCW/OCW-i Integrated Web System and its Multilateral Education Services

真島 豊^{※1}
Yutaka MAJIMA

望月 祐洋^{※2}
Masahiro MOCHIZUKI

赤間 啓之^{※3}
Hiroyuki AKAMA

1. はじめに

東京工業大学では平成17年5月より、東京工業大学オープンコースウェア（(OpenCourseWare, (TOKYO TECH OCW) (<http://www.ocw.titech.ac.jp/>)) による講義資料の公開を積極的に推進しており、アクセスページビューは公開開始より延べ3,000万アクセスページビューを超え、1ヶ月当たり75万アクセスページビュー（平成21年度の平均値）の閲覧があり、774講義の講義資料を公開（平成23年1月）している。

TOKYO TECH OCWは、本学の理工系教育を世界の共有財産とすべく、講義要旨を無償で公開することを目的としたプラットフォームである。TOKYO TECH OCWは本学が独自に開発してきたシステムであり、システムの立ち上げ当初より、講義担当教員が自ら講義資料をアップするシステムのコンセプトを提案し、公開当初より52講義を公開し、半期毎に講義データベースを更新し、3度にわたるサイトの大幅なリニューアル整備を行ってきた。

平成21年4月から運用を開始したTOKYO TECH OCW-iは受講生向けのシステムであり、講義資料を一般公開するTOKYO TECH OCWと密接に連携している。講義担当教員は一般公開向けのTOKYO TECH OCW用講義資料と受講生向けのTOKYO TECH OCW-i用講義資料を同一のウェブ画面からそれぞれ配信することができる。また、講義担当教員は受講生にさまざまなお知らせメールを配信し、受講生は演習を提出する機能を有している。さらに、平成22年4月より携帯電話版TOKYO TECH OCW-iのサービスを開始している。

上述のようにTOKYO TECH OCW/OCW-i 統合ウェブシステムは、OCW機能では一般ユーザーに対して広く本学の講義資料を公開し、OCW-i機能では

講義受講生に対して様々なサービスを提供している。本論文では、TOKYO TECH OCW/OCW-i 統合ウェブシステムの概要と本システムが提供する多面的な教育サービスについて概説する。

2. TOKYO TECH OCW/OCW-i 統合ウェブシステム

TOKYO TECH OCW/OCW-i 統合ウェブシステムでは、本学の教育ブランドをさらに向上させ、一般ユーザー・東工大生・教員・教務職員への多面的でベストな教育サービスを提供することを目的としている。図1にTOKYO TECH OCW/OCW-i 統合Webシステムの概要を示す。講義要旨を一般ユーザー向けに公開するTOKYO TECH OCWと講義資料を東工大生向けに限定して配布するTOKYO TECH OCW-iの異なる機能を一つのシステムに統合し、さらには講義申告と成績報告を行う教務ウェブシステムと連携している。以下に各ユーザーからみた教育サービスという観点で、本統合ウェブシステムの特徴を述べる。

講義担当教員はTokyo Tech Portal画面から個人認証をし（<http://portal.titech.ac.jp/>）、統合ウェブシステムにログインすることにより、(1)一般ユーザー向け（TOKYO TECH OCW向け）の公開講義要旨と該当する講義を受講している東工大生向け（TOKYO

図1 TOKYO TECH OCW/OCW-i 統合ウェブシステム

平成23年1月20日受付

※1 東京工業大学応用セラミックス研究所

※2 東京工業大学学術国際情報センター

※3 東京工業大学大学院社会理工学研究科

TECH OCW-i 向け)の講義資料を一つの画面上でアップロードすることが可能である。(2)講義担当教員は講義資料を、OCWでは公開、OCW-iでは講義受講生のみ配信し、(3)カレンダー型の時間割、休講情報、課題出題等のさまざまな情報を講義受講生に向けて発信することができる。

図2 TOKYO TECH OCWトップ画面

一般ユーザーは、TOKYO TECH OCWの

(1)アクセスランキング・検索機能等を用いて774講義の中から講義を選択し、シラバス、講義要旨等を閲覧することが可能である(図2参照, <http://www.ocw.titech.ac.jp/>)。また、(2)お気に入り講義を登録することにより、次回訪問時にお気に入り講義画面を通じてワンクリックでアクセスできる。さらに、(3)講義資料更新お知らせ機能を用いてe-mailアドレスを登録すると、講義要旨が更新されたことをe-mailで知ることができる。

東工大生は、TOKYO TECH OCW-i(図3参照)にTOKYO TECH Portalにログインすることによりアクセスし、(1)東工大生各々の履修情報、講義開講スケジュールに基づいたリアルな講義スケジュール(時間割)を閲覧し、(2)履修している講義の課題内容(宿題など)の閲覧、(3)課題提出・課題提出状況の確認、(4)履修している講義の休講情報をリアルタイムで受信を行うことができる。TOKYO TECH OCW-iでは携帯電話版のサービスを平成22年4月より開始しておりTOKYO TECH OCW-iを通じた教育サービスの利便性を向上させている。

TOKYO TECH OCW/OCW-i 統合ウェブシステムは、本学教務課とも密接に連携している。本学では、教務課が構築した教務ウェブシステムが稼働している。教務ウェブシステムでは、(1)東工大生の履修講義のウェブ申告、(2)講義担当教員による履修者名簿のダウンロード、(3)教員の担当講義の成績報告、(4)東工大生による成績閲覧が可能である。TOKYO TECH OCW/OCW-i統合ウェブシステムでは、教務

図3 TOKYO TECH OCW-i カレンダー画面、携帯版ログイン画面

ウェブシステムとデータの授受を行っており、相補的な関係にある。すなわち、TOKYO TECH OCW/OCW-i 統合ウェブシステムは、講義情報、受講生情報、教員情報等を教務ウェブシステムから受け取り、休講情報等を教務システムに通知している。さらに、TOKYO TECH OCW/OCW-i 統合ウェブシステムのヘルプデスクが教務課にあり、学生、教員等からの問い合わせに教務課が対応している。

3. おわりに

機能の異なる一般公開用TOKYO TECH OCWプラットフォームと学内向けTOKYO TECH OCW-iプラットフォームを統合したウェブシステムによる一般利用者、学生、教員、職員への多面的教育サービスの提供について概説した。本システムは、それぞれのユーザーに対して最も良い方法で最も良いサービスを提供することを目指している点において他に例を見ないシステムである。

著者紹介

真島 豊

1992年：東京工業大学大学院理工学研究科・博士課程修了，工学博士
1992年：株式会社東芝研究開発センター
1996年：東京工業大学大学院総合理工学研究科 助手
1998年：東京工業大学工学部 助教授
2009年：東京工業大学応用セラミックス研究所 教授 現在に至る
専門分野：分子デバイス、有機エレクトロニクス、走査型プローブ顕微鏡